

第73期

報 告 書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



営業の概況

当事業年度のわが国経済は、当期の初めより雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しが見られ、回復傾向が見られました。しかしながら、米国の保護主義的な政策の長期化や中国経済の減速傾向などの影響による製造業の輸出不調、生産量の減少といった、企業収益についてはネガティブな要因を抱えつつ推移いたしました。さらに、第4四半期に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動の自粛が広く要請され、先行きが見通せない状況にあります。

このような状況のもと、当社は新規需要分野の開拓に向け、各種展示会等を積極的に推進し、企業としての発信力を強化するとともに収益改善にも注力してまいりました。

製品の販売状況につきましては、フレキシブル銅張積層板「ユピセルN」はスマートフォン向け部材の大型案件へ採用となり大きく販売を伸ばしましたが、FRP製品を中心とした農業用途向け資材は、自然災害や暖冬等の影響を受け販売は大幅に減少しました。プラスチックダンボール「ダンプレート」をはじめとする自動車関連資材も、モデルチェンジ需要の減少により、販売は低迷しました。また複合繊維「UCファイバー」は中国市場の減速により特に衛生材料用途が不振で大幅な販売減少となりました。その他の製品についても前年実績を下回るものが多く低調に推移しました。

なお、当事業年度は、光通信関連事業における減損損

失4億3千9百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、当事業年度の売上高は136億6千4百万円（前事業年度比0.7%増）、経常利益が4億2千8百万円（前事業年度比41.4%減）、当期純利益は1千7百万円（前事業年度比96.6%減）と増収減益となりました。

【電子・情報材料部門】

当部門の売上高は52億6千1百万円（前事業年度比26.1%増）となりました。

光通信ケーブル用資材「ラセンコンポーズ」は、光通信ケーブルのロットレスタイプの採用が進んだことにより、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

一方で、光通信ケーブル用識別バンドルテープ「識別糸」は、採用される通信ケーブルの種類が広がった影響で販売は好調に推移し、売上高は前事業年度を上回りました。

なお、光通信関連事業（「ラセンコンポーズ」、「コンポーズテンションメンバー」、「識別糸」）については、将来に亘る収益性を検討した結果、固定資産の減損損失を認識したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額4億3千9百万円を減損損失として計上いたしました。

高純度シリカ微粒子「ハイプレシカ」は、高機能樹脂充填剤用途は需要低下が大きく販売減少となりました。電子材料向けギャップ材用途は主要顧客の液晶パネルか

ら有機ELパネルへの移行が進み、売上高は前事業年度を下回りましたが、車載用途への販売は伸長を続けており、今後も期待できます。

フレキシブル銅張積層板「ユピセルN」は、スマートフォンの大型案件への採用により、売上高は前事業年度を大きく上回りました。ポリイミド・ステンレス積層材「ユピセルC」は主要用途である半導体製造装置の需要の低迷により、売上高は前事業年度を下回りました。

高機能チューブは、主用途である産業機械向け用途の販売で世界的に設備投資を手控える動きが続き、売上高は前事業年度を下回りました。

【機能樹脂製品部門】

当部門の売上高は22億5百万円（前事業年度比9.1%減）となりました。

FRP製品は、特に農業分野においては自然災害や暖冬の影響で販売が大きく落ち込み、水産分野は海苔の水揚げ不振、建材分野はリース足場向け需要停滞により低調に推移し、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

中空構造フィルム「サニーコート」は、農業用途が暖冬の影響により売上高は前事業年度を下回りましたが、窓用フィルム用途は省エネ志向の継続もあり、前事業年度を上回り、同事業としては前事業年度並みとなりました。

漁業用ロープ原糸「ダンライン」は、漁業者の高齢化

及び後継者不足による減船や、漁獲量も低調に推移しましたが、売上高は前事業年度並みを維持しました。

【繊維・産業資材部門】

当部門の売上高は61億9千7百万円（前事業年度比11.1%減）となりました。

複合繊維「UCファイバー」は、衛生材料用途において、中国向け販売がローカルメーカーの台頭等により大きく減少となり、売上高は前事業年度を大きく下回りました。また、高強度ポリプロ繊維「シムテックス」は自動車向け販売が堅調に推移しましたが、民生向け販売は中国安価品の台頭が進み厳しい状況が続き、売上高は前事業年度並みとなりました。

プラスチックダンボール「ダンプレート」は、自動車向け物流資材用途の販売において、モデルチェンジ需要の減少により低調に推移しました。また米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響により輸出用物流資材も大幅に需要が減少したことから、売上高は前事業年度を大きく下回る結果となりました。

中空ハニカム構造板「ツインコーン」は、物流、自動車、土木建材いずれの分野においても前事業年度を上回りました。当事業年度は特に物流分野が好調でしたが、その他分野でも採用事例が増えており今後もさらなる拡販に努めてまいります。

貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目	当 期 (2020年3月31日現在)	前 期 (2019年3月31日現在)
流動資産	10,518,126	11,083,121
現金及び預金	1,694,135	1,236,581
受取手形	835,220	1,109,078
売掛金	3,141,703	3,464,506
商品及び製品	1,242,635	1,344,076
仕掛品	274,299	272,478
原材料及び貯蔵品	444,391	505,453
前払費用	24,209	20,372
未収入金	63,348	84,615
預け金	2,744,647	3,038,884
その他	55,151	8,937
貸倒引当金	△ 1,617	△ 1,864
固定資産	6,413,810	6,835,769
有形固定資産	4,331,662	4,811,236
建物	1,088,301	1,180,236
構築物	75,545	84,810
機械及び装置	1,294,484	1,659,925
車輛運搬具	1,288	3,284
工具、器具及び備品	147,731	132,471
土地	1,453,218	1,453,218
リース資産	5,637	6,975
建設仮勘定	265,455	290,314
無形固定資産	34,892	32,975
ソフトウェア	28,244	26,327
電話加入権	6,647	6,647
投資その他の資産	2,047,256	1,991,557
投資有価証券	236,965	247,666
関係会社株式	40,000	40,000
関係会社出資金	824,517	824,517
長期貸付金	1,190	1,598
長期前払費用	14,902	20,816
繰延税金資産	871,301	761,266
敷金及び保証金	46,263	46,577
破産更生債権	—	7,825
その他	12,115	49,115
貸倒引当金	—	△ 7,825
資産合計	16,931,937	17,918,891

(単位：千円)

負債の部		
科目	当期 (2020年3月31日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
流動負債	3,045,362	3,584,614
買掛金	1,907,220	2,183,271
リース債務	3,139	5,287
未払金	695,407	806,635
未払費用	124,971	152,977
未払法人税等	27,247	86,116
未払消費税	48,703	101,390
預り金	25,127	25,406
賞与引当金	211,920	223,511
その他	1,627	19
固定負債	2,378,154	2,294,964
リース債務	2,948	2,078
退職給付引当金	2,005,201	1,953,750
役員退職慰労引当金	26,886	10,631
資産除去債務	42,064	41,121
長期預り保証金	301,054	287,382
負債合計	5,423,517	5,879,579
純資産の部		
株主資本	11,390,320	11,912,963
資本金	2,492,500	2,492,500
資本剰余金	1,725,000	1,725,000
資本準備金	1,725,000	1,725,000
利益剰余金	7,172,820	7,695,463
利益準備金	368,088	368,088
その他利益剰余金	6,804,732	7,327,375
固定資産圧縮積立金	17,257	23,341
別途積立金	3,500,000	3,500,000
繰越利益剰余金	3,287,474	3,804,033
評価・換算差額等	118,099	126,348
その他有価証券評価差額金	118,099	126,348
純資産合計	11,508,419	12,039,312
負債・純資産合計	16,931,937	17,918,891

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	前 期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
売 上 高	13,664,964	13,574,418
売 上 原 価	10,488,222	10,122,294
売 上 総 利 益	3,176,741	3,452,123
販売費及び一般管理費	2,773,171	2,823,912
営 業 利 益	403,570	628,211
営 業 外 収 益	49,922	122,411
受取利息及び配当金	23,165	15,916
その他の営業外収益	26,756	106,495
営 業 外 費 用	24,578	18,431
支 払 利 息	29	27
その他の営業外費用	24,549	18,403
経 常 利 益	428,913	732,191
特 別 利 益	1,400	—
投資有価証券売却益	1,400	—
特 別 損 失	439,493	—
減 損 損 失	439,493	—
税引前当期純利益(△損失)	△ 9,180	732,191
法人税、住民税及び事業税	90,616	223,434
法人税等調整額	△ 117,282	△ 10,574
当 期 純 利 益	17,485	519,331

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					
	資 本 金	資本剰余金	利 益 剰 余 金			
		資 本 金 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金		
			固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	
2019年4月1日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	23,341	3,500,000	3,804,033
誤謬の訂正による累積的影響額						19,710
遡及修正後2019年4月1日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	23,341	3,500,000	3,823,743
事業年度中の変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩				△6,084		6,084
剰余金の配当						△559,839
当期純利益						17,485
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計				△6,084		△536,268
2020年3月31日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	17,257	3,500,000	3,287,474

(単位：千円)

	株 主 資 本		評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	利益剰余金	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
	利益剰余金合計			
2019年4月1日残高	7,695,463	11,912,963	126,348	12,039,312
誤謬の訂正による累積的影響額	19,710	19,710		19,710
遡及修正後2019年4月1日残高	7,715,173	11,932,673	126,348	12,059,022
事業年度中の変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩				
剰余金の配当	△559,839	△559,839		△559,839
当期純利益	17,485	17,485		17,485
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)			△8,249	△8,249
事業年度中の変動額合計	△542,353	△542,353	△8,249	△550,602
2020年3月31日残高	7,172,820	11,390,320	118,099	11,508,419

会社の概況 (2020年3月31日現在)

■商 号 宇部エクシモ株式会社

■設 立 1966年2月22日

■資 本 金 24億9,250万円

■発行済株式総数 25,150千株

■主要な事業内容

<p>電子・情報材料 部 門</p>	<p>ハイプレシカ (液晶ディスプレイ用スペーサー) ユピセルN (フレキシブル銅張積層板) ユピセルC (ポリイミド・ステンレス積層材) エクシラムL (液晶ポリマー基材) ラセンコンポーズ (光通信ケーブル用資材) コンポーズテンションメンバー (光通信 ケーブル用資材) 識別糸 (光通信ケーブル用識別バンドルテープ) 高機能チューブ (産業機械用等各種チューブ) フィルター (エアフィルター) その他情報材料、電子材料の製造、加工、販売</p>
<p>機能樹脂製 部 門</p>	<p>ダンポール (農業用FRP支柱) コンポーズパイプ (水産用FRP支柱) コンポーズバタ・足場材 (建築・仮設資 材用FRPパイプ) サニーコート (中空構造フィルム) ダンライン (漁業用ロープ原糸) その他機能樹脂製品の製造、加工、販売</p>
<p>繊維・産業資材 部 門</p>	<p>UCファイバー (紙おむつ等衛生材料用複合繊維) シムテックス (電池セパレーター用繊維、 コンクリート剥落防止用メッシュ) ポリプロ繊維 (カーペット・フィルター用原糸) シムロック (コンクリート用補強繊維) ダンプレート (プラスチックダンボール) ツインコーン (中空ハニカム構造板) その他機能繊維製品、産業資材の製造、 加工、販売</p>

■事業所

本 社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目6番20号
営業所 名古屋営業所（名古屋市東区）
福岡営業所（福岡市中央区）
宇部営業所（山口県宇部市）
工場 岐阜工場（岐阜県岐阜市）
福島工場（福島県郡山市）
研究所 中央研究所（岐阜県岐阜市）
先端繊維研究所（福島県郡山市）

■従業員数 359名

■ホームページアドレス <http://www.ube-exsymo.co.jp>

役員（2020年6月18日現在）

代表取締役社長	高橋俊充	※社長執行役員	高橋俊充
取締役	石井徳	※常務執行役員	石井徳
取締役	仲山典宏	※執行役員	仲山典宏
取締役	末廣正朗	執行役員	安村守人
常勤監査役	内藤憲一	執行役員	高田隆久
監査役	石川博隆	執行役員	関谷博
		執行役員	多田厚美

（注）※は取締役との兼務を示しています。